

新設技能章細目

2018.12.21 規程改正 告示用

報道章



No.	実演項目	細目
1		ジャーナリストの伝記や自伝、評伝などを一冊読み、ジャーナリストの役割や社会的使命について考えを示すこと。
2		地域の新聞社・支局や放送局を見学し、その役割について理解する。ジャーナリストの専門領域にどのようなものがあるか知ること。
3		新聞やテレビなどこれまでのメディアと、SNSやWebメディアなどの新たなメディアのそれぞれの機能と役割、社会に与える影響をメディア・リテラシーの観点から自分の考えをまとめて提出すること。
4		メディアで働く人に面会し、ジャーナリストやメディア人として働く喜びや使命感などについて話を聞き、400字程度の記事にまとめて提出すること。
5	●	地区や団の情報誌の企画を担当し、その発行に関わるか、定期刊行物がある場合は、編集や記事の執筆で中心的な役割を担った経験があること。
6	●	県連盟や地区の広報責任者に協力して、スカウト活動やイベントなどを地域のメディアに売り込むか、ニュースリリースを作り、広報責任者に提案すること。
7	●	県庁や市役所、企業の広報担当者を訪ね、仕事の概要とメディアとの関係などについて話を聞き、内容を報告すること（可能ならば記者クラブなどの見学を行うこと）。
8		行政や企業、NPOの出したニュースリリースを一つ選び、どのような報道であったのか調べ報告すること。

薬事章



No.	実演項目	細目
1		薬の起源や歴史（生薬、抽出成分、化合物などの創薬の歴史）について調べ報告すること。
2		次の薬の剤形について、それぞれの特徴（用途や使用方法など）が説明できること。 ア 錠剤 イ カプセル剤 ウ 散剤 エ 液剤 オ トローチ剤 カ 塗布薬 キ 貼付剤 ク 点眼剤 ケ 点鼻剤 コ 点耳剤 サ 吸入剤 シ 坐剤 ス 湿布剤
3		次の用語について例をあげて説明できること。 ア 主作用、副作用 イ 相互作用（薬と薬、薬と飲食物） ウ 薬物アレルギー エ 用法、用量
4		次の用語について説明できること。 ア OTC医薬品 イ 要指導医薬品 ウ 一般用医薬品（第一、二、三類） エ 医薬部外品
5		薬物乱用防止について研究し、報告すること。
6	●	症状にあった薬を選び、その理由を説明できること。
7		医療品、医薬品が市場に出るまで（治療に使われるまで）の過程が説明できること。
8		過去に起きた薬害について1例をあげて説明できること。
9	●	薬用に用いることができる薬草になるものを列挙し、その内の1つについて実演すること。

防災章



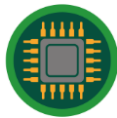
No.	実演項目	細目
1		地震発生メカニズムや日本で地震が多く発生する理由について説明できること。
2		自宅や外出時における地震発生の際に適切な対応行動が説明できること。
3	●	集中豪雨、ゲリラ豪雨(短時間集中豪雨)、土砂災害などの風水害発生時の初動について説明し、行動できること。
4	●	自宅や学校、団本部などの減災対策が説明でき、準備すること。
5		避難所運営の意義、必要性を知り、開設のプロセスを説明できること。
6		自分が住む市町村の防災に関する計画を調べ、説明できること。
7	●	自治会、町会などの地域、行政が主催する防災訓練、避難訓練や初期消火訓練などに参加し、感想などをまとめること。
8	●	自宅および活動場所から近隣の避難場所を探し、ルートを示すこと。
9	●	身の周りの物を使って防災グッズを5点以上作り、提出すること。
10	●	隊もしくは団で防災に関わる訓練プログラムを企画・計画し、隊長の承認のもとで実施すること。

コンピューター章



No.	実演項目	細目
1		次のことができること。 ア コンピュータの歴史について説明する。 イ コンピュータの仕組み及びハードウェアとソフトウェアの違いとその役割について説明する。 ウ アナログ信号とデジタル信号の違いと、どこで使われているかについて説明する。 エ 10進法、2進法及び16進法について説明し、与えられた数字を3種の進数で表記する。
2		次のことができること。 ア 入力装置を4種類以上あげて、その特徴について説明する。 イ 出力装置を4種類以上あげて、その特徴について説明する。 ウ 記憶装置を4種類以上あげて、その特徴について説明する。 エ 各種ケーブル(端子)の種類を列挙し、どのような機器で利用されているか分類する。
3	●	プリンター・スキャナーなど、外部入出力装置を5種類パソコンに接続し、実際に使用できること。
4	●	パソコン内臓のメモリ・ハードディスクなどのハードウェアを交換できること。
5	●	以下について方法を説明し、実演すること。 ア OSをアップデートする イ 添付ファイルを付けたメールを送受信する ウ 複数ファイルをひとつにまとめ圧縮し解凍する エ データをバックアップする
6		現代社会における情報・通信技術について以下を説明し、自身の見解を述べること。 ア 一般社会での利用状況と人間生活との関連 イ 学校での利用状況と学習向上にもたらす効果 ウ 依存することの是非
7		新聞やインターネットの報道で、情報・通信技術に関する新しい技術を見つけ、内容・応用分野・今後の進展などを報告すること。

情報処理章



No.	実演項目	細目
1		以下について説明できること。 ア オペレーティングシステム イ コンパイラーとインタープリターの違い。 ウ プログラミング言語を5種類あげ、特徴と用途。 エ クライアント・サーバーモデル。
2	●	任意のプログラム言語で、以下のプログラムを作成し、実際に実行させる。 ア 整数Nを入力し、1行目'*', 2行目 '**', 3行目 '***'...のように、N行分、行番号の数だけの'*'を出力する。 イ 名前がランダムに出力される「くじびき」を作り、何度か実行した後、誰が何回選ばれたか集計を表示する。
3	●	団行事(体験入隊会やバザーなど)のポスターやチラシを作成できること(文字だけでなく、イラストや写真などの図を含めること)。
4	●	プレゼンテーションソフトを利用し、団や隊の活動を発表する。
5	●	表計算ソフトなどを利用し、出席状況・進級状況・会計などを、継続管理できる方法でまとめる。
6	●	スカウト活動を紹介する3分以上の動画を作成できること。
7		コンピューターやインターネットを活用した便利なサービス(情報検索・通販・各種予約・地図情報など)のうち1つについて、どのような仕組みで実現されているか調べ報告する。
8		コンピューターやスマートフォンなどを活用した新しいサービスを考案し、実際にシステムを構築するか、構築するのに必要なハードウェア・ソフトウェアについてまとめる。

情報通信章



No.	実演項目	細目
1		以下について説明できること。 ア プロトコルの意味と、実際に通信技術で使われているプロトコルの方法(1つ以上)。 イ 暗号化の意義と、実際に通信技術で使われている暗号化の方法(1つ以上)。
2		通信に関する次の用語について説明できること。 ア LAN イ WAN ウ ルーター エ ハブ オ DHCP カ ネゴシエーション キ ゲートウェイ ク Wi-Fi ケ IPアドレス コドメイン サ URL シ Bluetooth
3		セキュリティに関する次の用語を説明し、それぞれの対策や活用方法について説明できること。 ア パスワード イ コンピューターウィルス ウ ファイアーウォール エ SSL オ フィッシング カ デジタル証明書 キ 脆弱性
4		各種ユーザ認証方法の特徴をあげ、長所と短所について説明できること。
5		家庭内でインターネットに接続している機器をすべてあげ、それらがインターネットをどのように使っているのかを調べること。
6	●	家庭内や団本部などでLANを構築し、複数台のパソコンでファイルやプリンターを共有、インターネットを利用できるようにし、使用した機器や設置場所、機器とパソコンの設定状況について報告すること。
7		任意のクラウドサービスの特徴をあげ、特徴を活かした利用方法と、利用上留意すべきことを説明できること。
8		任意のWebサイトについて、使い勝手の良否やセキュリティ・著作権侵害などの問題を評価し、改善方法についてまとめて提出すること。

ネットユーザー章



No.	実演項目	細目
1		スマートフォンでインターネットが利用できる仕組みを調べる。
2		自身の利用方法や端末の設定を見直し、改善点を考える。
3	●	検索エンジンを使用して、出題されたテーマの情報を実際に検索する。
4	●	指定された2地点間のルートをインターネットの経路検索サービスを活用して求め、それに沿って正確に移動する。
5		各種SNSについて、以下を説明できること。 ア 特徴と、特徴を活かした利用方法 イ 利用上留意すべきこと ウ スカウト活動での活用方法
6		SNSやWebサイトの閲覧、電子メール、公衆Wi-Fiの利用における以下のセキュリティリスクと被害者および加害者にならないための防止策、発生した場合の対応について説明できること。 ア アカウントの乗っ取り イ 個人情報の漏洩、被特定被害 ウ 炎上 エ ウイルス感染による情報流出 オ 儲け話、出会い系サイトなどによる犯罪被害 カ メールやWEBサイトによる身に覚えのない料金請求
7		インターネット利用における著作権違反で告発されるリスクをあげ、次の具体的な防止策を説明できること。 ア 違法ダウンロード、アップロード イ 著作物の引用 ウ インターネット上で入手したファイルの再利用
8	●	スカウト活動に役立つインターネットの利用として、指導者の許可を得て以下のいずれかを実際に行う。 ア SNSへのPR投稿(動画も含む) イ 団ホームページの立ち上げ、管理 ウ 活動計画の団・隊内での共有